

## 「書けない」という今の状態

- 書こうとするが、手が止まる
- 投稿画面を表示したまま停止する
- 下書きばかりが増え続ける
- 言葉が出力されないまま時間が過ぎる

ネタ帳はある。なのに、発信は停滞している。

停止の理由は、どこにあるのか？

才能や文章力の問題ではない

**真の原因：設計の不在**

- 言葉を出す「順番」が不明
- 全体の「設計」が存在しない
- 「書き出し」で迷子になる
- 「途中」で道を見失う
- 「着地点」が決まっていない

## 捨て去るべき「誤解の前提」

- × **上手い文章**が必要だと思っている
- × **深い内容**が必須だと思っている
- × **完成形**を投稿しようとしている
- × **価値不足・ネタが弱い**と判断している

「書きながら構造を作る」ことが、迷走の始まりです。

## 言葉の地図

迷いを防ぐ「一本道構造」

1. 問題提示



2. 体験共有



3. 気づき提示



4. 一言結論

順番を固定し、迷いを断つ。

用途：パラダイムシフト

認知の転換：文章から「構造」へ

|         |   |         |
|---------|---|---------|
| 文章力に頼る  | → | 順番に頼る   |
| ネタを探す   | → | 視点を発見する |
| 整えてから出す | → | 出して磨く   |

**構造優先の思考へ**

## 最小行動：四つの問い

1. 紙を用意する
2. 今伝えたいことは何か？（問題）
3. 似た体験はなかったか？（共有）
4. そこからの気づきは？（発見）
5. 一言まとめにすると？（結論）
6. その順番のまま投稿する

## この設計図の役割

- ✓ 停止地点の客観的確認
- ✓ 言葉を整理するカード
- ✓ 順番の再確認
- ✓ 構造思考の維持
- ✓ 発信再開の補助
- ✓ 迷走の防止
- ✓ 設計の固定

## 次の行動

四つの問いを実行し、一投稿を作成する。

順番を維持し、投稿を継続する。

止まったら、この「地図」を運用する。

**設計の見直しが、発信を自由にする。**